

全附P連 令和6年度 附属学校・PTA活動 情報紹介シート

所属学校名	鹿児島大学教育学部附属中学校		
役 職	教 頭	氏 名	東 佑樹
活動名称	F B S （Fuzoku Brushup Seminar） の実施		

鹿児島大学教育学部附属中学校では、毎年５月に研究公開を実施し、鹿児島県内から多くの教職員や教育学部生、教育関係者の方々にお越しいただいている。しかし、５月は年度初めでまだまだ慌ただしく、また運動会や集団宿泊学習等の学校行事を行う学校もあるため、開催期日を理由に参加を見送る現職教員の方々もいる。こうした現状と、「研究・実習・貢献」という本校の使命を果たすべく、令和元年度から Fuzoku Brushup Seminar（通称、FBS）を実施している。

FBSは、現職教育の振興に寄与することを目的としており、年間を通して鹿児島県内外の現職教員の先生方に対し、本校を研修の場として提供するものである。本活動も6年目を迎え、徐々に知られるようになり、県内の市町村教育委員会が主催する研修会の会場として選んでいただいたり、夏季休業期間を利用して現職教員の方がお一人でお越しになったり、ときには県外・国外から本校を参観しに来られたりすることもあった。

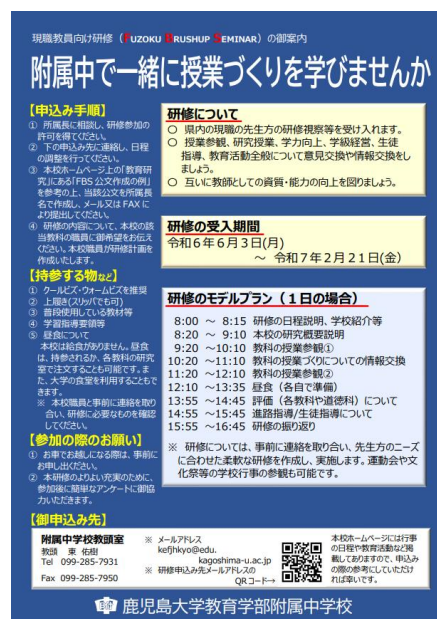
本校FBSの魅力は、参加者のニーズに応じた研修を実施するところにある。

現職教員の困り感や願いは「自身の専門教科について研鑽を深めたい。」「校内研修の進め方を学びたい。」「生徒指導について意見交換をしたい。」など様々である。FBSでは、受入れ日程を調整・確定する際、参加される方々の希望を事前に確認するようにしている。これを受け、本校の主幹教諭が研修計画を立て、参加者に提案することで、参加する側と受け入れる側にとって無理なく、そして有意義な研修を行うことができる。

また、FBSを行うことは、受け入れる本校職員にとっても貴重な学びの機会となる。参加者に対し、本校の研究を説明したり、授業を参観していただいたりすることで、本校職員は適度な緊張感をもつとともに、それぞれの研究を見つめ直したり、意見交換等を通して専門性をより高めたりする機会を得ることができる。また、今、附属学校に求められていることについても再認識することや、人的ネットワークの構築にもつながる。

FBSの終わりには、参加者にアンケートへの回答を依頼している。現状に満足せず、「附属学校に求められていること」を常に意識し、実践を続けることが、本校に与えられた使命を果たす一助になるものと考えている。

全国の附属学校の皆様も
ぜひお越しください！



【図1】 FBSパンフレット

○ 授業参観の時間が2時間設けられていたの
でゆっくりみることができ、とてもよかったです。
授業参観以外で教科の先生とお話しする
時間があり様々な質問をすることができ、
とてもよい研修になりました。
ありがとうございました。



【中学校教諭
A先生より】



【図2】参加者の感想とFBSの様子